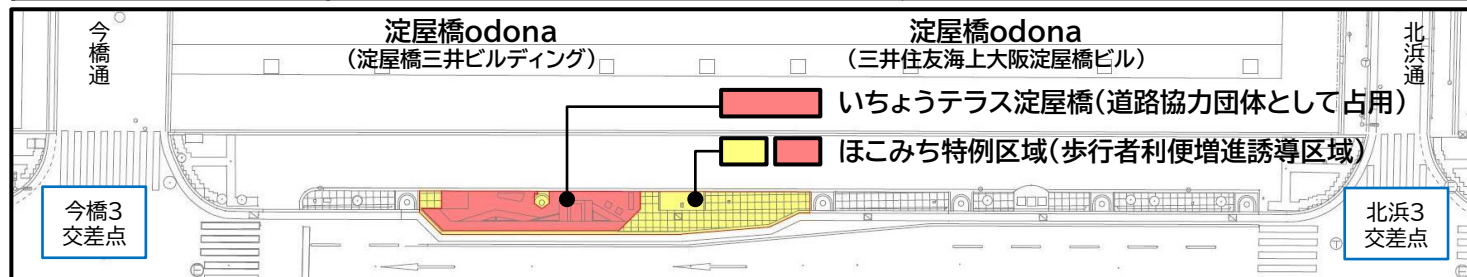


4. 準用制度 「道路協力団体制度」と「ほこみち制度」

▶ 道路協力団体制度と歩行者利便増進道路制度(ほこみち)2つの制度を活用して実施。

活用制度	道路協力団体制度	歩行者利便増進道路制度
大阪市の指定	令和2年10月2日(御堂筋3団体を指定)	令和3年2月12日(御堂筋を指定)
制度の主な準用箇所	占用主体や活動に関すること	占用場所・施設構造に関すること
	<ul style="list-style-type: none"> 道路協力団体の活動(1~6号業務) 道路協力団体の活動のために必要な道路占用に係る占用料を免除 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者利便増進施設等の設置の要件 歩行者利便増進施設等の場所や構造の基準



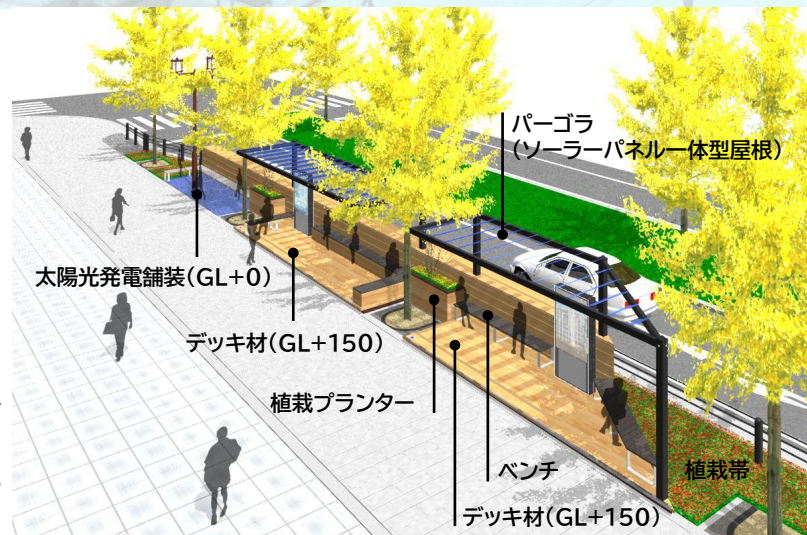
5. 次期いちようテラス淀屋橋の計画 [2023年度~]

- いちようテラス淀屋橋社会実験は、令和3年度~令和6年度に実施するもので、道路協力団体による高質で安定的な道路維持管理活動(持続可能なマネジメント手法)を検証し、設置した施設(いちようテラス淀屋橋)の継続、中止の判断を行うこととしています。
- 社会実験は淀屋橋オドナ前の第1期、第2期に区分し、第2期では、複数個所のマネジメント手法をはじめ、施設間ネットワークによる情報発信や利活用が創出する回遊性の検証などを予定しています。

〔計画のポイント〕

- 淀屋橋オドナ前と同様に基本材料を天然木としている。
- パーゴラと地域情報案内板を2か所設置。
※デジタルサイネージは10m以上の離隔が必要
- 案内板はLCDのデジタルサイネージとして、地図などの詳細な情報を掲示できるもので検討。
※LCDの弱点である太陽光の直射を防ぐため、車道に平行配置とするとともにパーゴラ下部に設置。
- デッキ有部分とデッキ無部分を検討(空間を有効に活用するためスロープを無くしデッキ無部分を検討)。
- 脱炭素の取組みとして、太陽光パネル屋根のパーゴラや太陽光発電舗装、大型の植栽帯を設置。

〔検討イメージ図〕



※図は計画のポイントを示すイメージであり確定版ではありません

いちようテラス淀屋橋社会実験/発行:令和5年4月

一般社団法人 御堂筋まちづくりネットワーク 事務局
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-13 (株)竹中工務店内



BELOVED STREET MIDOSUJI

いちようテラス淀屋橋

道路協力団体による休憩施設の整備と維持管理

- 2022年4月に淀屋橋odona(淀屋橋三井ビルディング)前において憩いの空間『いちようテラス淀屋橋』をオープンしました。
- この取組みは、これまでに実施した社会実験結果をふまえて道路協力団体の創意工夫による施設形態の創出、高質な空間形成するものです。



1. 実施プロセス

1-1. 安全を確保する条件の検証 [2017年度/2019年度]

▶ 社会実験で利用時の安全性を検証し、今後設置する施設のデザイン条件を設定。

- 本いちようテラス淀屋橋は、これまで2度実施した社会実験の検証結果をふまえて整備を行っています。
- 社会実験では安全性等を検証し、今後設置する場合のデザイン条件を設定しています。

**安全を確保する
デザイン条件**

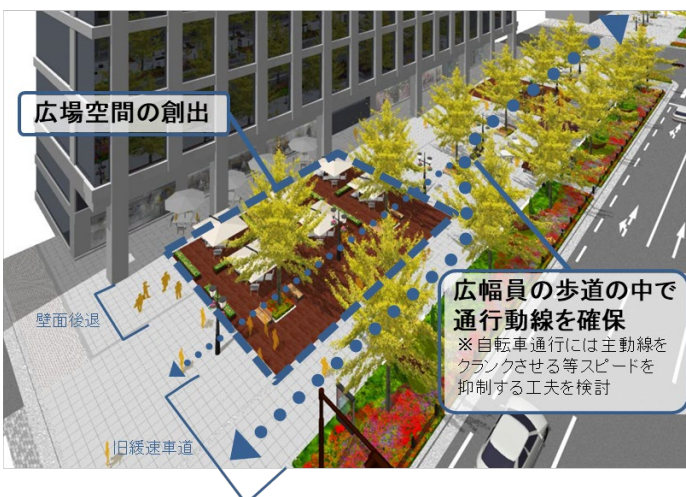
- ①車道側に乗り越えにくく、かつドライバーが見渡せるガードパイプ囲い高さ(ベンチ座面・背もたれ高さ)
- ②ガードパイプ囲いへの反射テープの設置
- ③デッキへのLED自発光紙及びノンスリップ(鼻先部)の設置



1-2. 御堂筋の広場化の検討 [2017年度~/御堂筋まちづくりネットワーク]

- ▶ 御堂筋パークレット社会実験、いちようテラス淀屋橋につながる御堂筋の広場化を検討。
- ▶ ほこみち特例区域とする場合の滞留、利活用空間のあり方をいちようテラス淀屋橋を通じて検討。

- 御堂筋完成80周年記念事業時、御堂筋まちづくりネットワークの提言「緑陰とにぎわいの街路づくり」に、御堂筋パークレット社会実験、いちようテラス淀屋橋につながる“御堂筋の広場化”というテーマを追加改訂。
- 以後、歩行者利便増進道路制度の創設をふまえ、側道歩行者空間化時の将来像として、ほこみち特例区域とする場合の滞留、利活用空間のあり方をいちようテラス淀屋橋を通じて検討。



2. 施設概要



- 【本体仕様】**
- デッキ、スロープ、防護柵カバー、ベンチ・テーブルなど、使用している木材は大阪府産杉材を使用しています。
 - ほとんどの木材はガラス改質処理木材で、液体ガラスを木材に浸透させ、ガラス成分が木材に吸着、固化されることで、針葉樹を広葉樹並みの硬度に高めています。

- 【デジタルサイネージ仕様】**
- 本体高さ:約2.2m/幅:1.1m
 - 画面: LED横1.5m×縦1.0m
 - 掲示情報の解像度:横1,620pix×縦1,080pix
 - ネットワーク配信型
 - フリーWi-Fi、無停電電源装置(UPS)を併設

3. 防災拠点としてのパークレット・デジサイ活用

▶ ライブカメラの設置と情報システムとの連携

【今後の取組み検討】

Emergency MIDOSUJI - 災害時情報共有システム -

- 「いちようテラス」のライブカメラを災害時WEB情報システムに接続し、被災時の道路状況を遠隔でモニタリング、関係行政と情報連携。
- 「いちようテラス」のデジタルサイネージに帰宅困難者受入可能ビル情報を掲出し、歩行者への円滑な避難誘導。

